

有限会社黒田養蜂園／丸福農園

認定テーマ名：トマトなどの農産物と、各農産物に合うはちみつを使用した加工食品の開発及び販売

1. 認定事業の現況

当事業は、栃木県鹿沼市にある黒田養蜂園と丸福農園が連携して、丸福農園などが提供する栃木産のこだわりのある農作物に、黒田養蜂園が最適なはちみつを選定・配合して加工食品を製造し、販売していく事業である。

具体的には、ジェラート、フレッシュジュース、洋菓子、多用途ソースなどである。

認定期間が終了した現在、丸福農園においては、トマトなどの野菜に一次加工を施す生産設備を自社農園内に導入し、ジェラートの原材料として黒田養蜂園に提供するとともに、加工食品の自社ブランド「ル・トルフル」を立ち上げ、トマトジュースやトマトジャムなどを販売するようになった。

加工食品の販売を通じて、当農園の青果トマトブランド「福来茜（ふくあかね）」と「福娘（ふくむすめ）」の販売単価の向上にも寄与した。

また、加工食品を中心に食品の展示会に出展したところ、東京都内の百貨店の催事に出展する機会を得ることができ、首都圏へ販路を拡大することができた。

黒田養蜂園においては、平成 25 年 5 月にジェラートを提供するカフェをオープンさせ、同年 10 月には飲食店舗を運営する別法人を立ち上げるに至った。

さらに平成 27 年 5 月には、はちみつ販売店舗とジェラート販売店舗と同じ敷地内にケーキを中心とした洋菓子ショップをオープンさせ、平成 27 年 6 月に株式会社 MIELE JAPAN と商号変更し、現在に至る。



▲MIELE JAPAN のジェラート



▲丸福農園のトマトジャム

2. 今後の展望（見通し）

丸福農園における今後の展望としては、トマトの特徴を活かした新たな商品開発を進めていくとともに、ペースト状にする加工設備を有していることから、同様の課題を抱える農家の農産物を一次加工して、新たな商品開発を促していくことを行っていく。

黒田養蜂園における今後の展望としては、ジェラートや焼き菓子などを外販していき、域外

の消費者に鹿沼産の野菜や果物を使った菓子類を食してもらうことを通じて、鹿沼に興味を持ってもらい、当地に足をはこんでもらえるような仕掛けを行っていく。

店舗においては、はちみつと相性の良いパンケーキをコアアイテムとして、地元産の農作物の特徴を活かしたソースを使い、メニュー内容と顧客満足度を向上させていく。

3. 認定を目指した経緯

黒田養蜂園は、養蜂業にて大正九年に創業し、各蜂産品（はちみつ、ローヤルゼリー、プロポリス等）の製造販売、ミツバチ関連商品の企画・販売を行っている。

創業から90年以上の実績により、栃木県内をはじめ、東京などの県外からの来店が増えてきており、「黒田養蜂園のはちみつを使用した加工食品を作ってほしい」、「ここで何か食べられないのか」、「県外へのお土産として何がいいか」等の要望が出てきており、既存の品揃えでは対応できなくなってきた。

一方、丸福農園は、全国でも有数の高日照量を誇る栃木県で、その土地柄を生かし高品質のトマト栽培を行っており、お客様のニーズに合った商品づくり、商品提案を行っている。

しかし、直売所やゴルフ場、旅館などで直接販売を行った経験から、農産物だけの販売では限界があると感じていた。また、委託製造によるトマトジャムの販売において、当農園の意図をうまく伝えられないことや、他の商品を開発しようとしても単独では思うように進まないのが現状であり、商品開発力と販売力の向上に課題を持っていた。

栃木県鹿沼には、個々の素材としては日本でも指折りの農産物が数多く存在するものの、素材感をしっかりと活かした地場産加工食品が少ない。その理由は、専業農家がほとんどであり、加工商品として商品化したくても、単独ではそのノウハウがないからである。

また、黒田養蜂園は、地域の農作物の実態を詳細に把握できておらず、特色のある加工品開発が行えない状態にあった。

鹿沼商工会議所の会員である黒田養蜂園と丸福農園は、商工会議所の総会にて常にその課題解消について協議していた。そこで両者が有機的な連携をし、トマトなどの農産物と、各農産物に合うはちみつを使用した加工食品を開発することで、顧客の要望に応え、鹿沼を代表するような商品の開発を行うこととなった。



▲ジェラートとカフェの店舗「Honey B」

4. 利用した中小機構の支援策

事業全体のコンセプトを固めるために、中小機構のアドバイザー派遣制度を活用し地域外の人々に鹿沼がどのように認識されて、どのような印象を持ってもらいたいかについて事業参加者が共通認識として共有できるような事業全体のブランドコンセプトを構築した。

黒田養蜂園と丸福農園から事業全体の考え方と本事業で訴求したい鹿沼の魅力、それをどのようなターゲットにどのような方法で伝えていくべきかをディスカッションを通じてまとめ上げていった。

また、販路開拓面では、フードックスにおける中小機構ブースに出展し、首都圏の新たな取引先開拓の足掛かりとした。

資金面では、黒田養蜂園において、認定を受けたことによる日本政策金融公庫の低利融資を利用し、ケーキショップをオープンさせるための資金調達を行った。

5. 企業概要

事業者名	有限会社黒田養蜂園／株式会社 MIELE JAPAN		
本社所在地	栃木県鹿沼市村井町 291-5		
ホームページアドレス	http://www.kuroda-honey.com/		
設立年月	1920 年／2013 年		
資本金	3,000 千円／6,000 千円	従業員数	名
売上高	全体 172,000 千円、認定事業の売上高 79,000 千円		

※平成 28 年 9 月 30 日現在

事業者名	丸福農園
本社所在地	栃木県鹿沼市上日向 193
ホームページアドレス	http://marufuku-nouen.com

6. 認定事業の概要

テーマ名	トマトなどの農産物と、各農産物に合うはちみつを使用した加工食品の開発及び販売
テーマの概要	丸福農園などが提供する栃木産のこだわりのある農作物に、黒田養蜂園が最適なはちみつを選定・配合して加工食品を製造し、販売していく。 具体的には、ジェラート、フレッシュジュース、洋菓子、多用途ソースなどである。
認定期間	平成 24 年 3 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日